



◎ 6/27 (日)

木田市長、松江国道市長
に陳情。

◎ 7/7 (木) 木田市田中建設部長
来庁説明。

平成28年度の入札・契約方針

国土交通省 中国地方整備局

【多様な発注方式】チャレンジ型【見直し】

施工実績、工事成績評定のウエイトが大きく、受注意欲はあるが施工実績が少ない企業は受注することが難しい。実績の少ない企業も受注機会が確保出来るよう、施工実績、成績評定等のウエイトを抑え、受注機会を確保する「チャレンジ型」の工事を平成27年度より試行している。

平成28年度よりさらなる受注機会の確保の観点から、平成28年度より対象工事の拡大を行う。

1. 対象工事

工事難易度Ⅱ以下で5千万円程度の工事

2. 評価項目の考え方(例)

- 工事規模、工事難易度を考慮し、加算点の合計を低く抑えた。
- 地域に密着した評価項目を設定。
- 配置技術者評価の緩和は行う。

3. 配点の考え方(例)

(配点例)

評価	価値	項目	目	チャレンジ型	備考
企業の施工実績	同種工事の実績			1	より同種性あり1点 同種性があり0点
	当該工事種別の2年間の平均成績			1	75点以上1点 75点未満0点
企業の能力等		【企業の施工実績 計】		2	
		災害対応協定等に基づく活動実績		1	
	地域精通度	地域内における本店の有無		1	
	地域貢献度	企業の近隣地域での施工実績の有無		1	
施工能力等		【地域精通度等 計】		3	
		【企業の能力等 計】		5	
		同種工事の実績		2	より同種性あり2点、同種性あり1点、(配置技術者の緩和有り)
		同種工事の工事成績		1	75点以上1点 75点未満0点
		継続教育(CPD)		1	
技術者の能力等		配置予定技術者の近隣地域での施工実績		1	
		【技術者の能力等 計】		5	
		【施工能力等 計】		10	
施工計画					求めない
施工体制評価点				30	
合計				40	

◆若手技術者育成型 (H26～ 継続)

配置予定技術者の評価は、工事実績等が対象となっているため、若手技術者が主任(監理)技術者に登用されにくい状況にある。

このため、品質を確保しつつ若手技術者が工事実績を積む機会を確保することを目的に、若手技術者を主任(監理)技術者に配置する場合、経験豊富な専任補助者を配置することができる工事を試行する。

※適用工事：3億円以上の全ての工事（WTOは除く）

◆チャレンジ型 (H27～)

施工実績、工事成績評定のウエイトが大きく、受注意欲はあるが施工実績が少ない企業は受注することが難しい。実績の少ない企業も受注機会が確保出来るよう、施工実績、成績評定等のウエイトを抑え、受注機会を確保する「チャレンジ型」の工事を平成27年度より試行している。平成28年度よりさらに受注機会の確保の観点から、平成28年度より対象工事の拡大を行う。

※適用工事：工事難易度Ⅱ以下で5千万円程度の工事

◆余裕期間制度の活用

施工時期等の平準化に向けた計画的な事業執行のため、下記の余裕期間制度を活用するものとする。

①発注者指定方式 ②任意着手方式 ③フレックス方式

なお、余裕期間の長さは工期の30%を超えず、かつ、4ヶ月を超えない範囲で設定する。

また、余裕期間内は主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。(現場着手をしてはならない。)

◆東日本大震災における災害廃棄物を原燃料としたセメントの使用を評価(H24.7～ 継続)

被災地における災害廃棄物の処理は復旧・復興の大前提であることから、速やかに処理を進めるため、政府一丸となって取り組む必要があるため、国土交通省発注工事のうち、コンクリートを主要工種に含む工事において、“東日本大震災における災害廃棄物を原燃料としたセメントを使用”する企業を加点評価する。

※適用工事：当面は対象地域を岩手県・埼玉県内の工事とする。